

反畑誠一（たんばた・せいいち）先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

※講師紹介は、前ページに記載

《講義概要》

本講座のコーディネーターである立命館大学の反畑誠一客員教授が、前期の中間総括として、デジタル時代の著作権について講義を行った。

講義ではまず、前半の授業を振り返った後、本講座の大きなテーマの一つである著作権の定義や歴史について、著作隣接権やフェアユースなど重要なキーワードを示しながら詳細に説明。デジタル技術の進歩に伴い複雑になる著作権の問題点や、時代によって権利のあり方は変化し、細分化していくことなどを提示した。

また、種類が多く理解の難しい知的財産権について例を用いながら分かりやすく解説。著作権に関連する条約についても国際的な視点で説明し、学生に幅広い見識を示した。さらに、私的録音録画補償金制度や音楽著作権の管理システムについても解説し、著作権が音楽ビジネスの基礎であり、音楽エンタテインメントを考える上で重要なポイントとなることを説明した。最後には、後半の講義内容を再確認し、各講義を受講する上で注目すべきポイントを提示した。



《受講生の感想》

●「フェアユース」のように判断基準を満たしていれば著作権の侵害にならないという法があったとは知らなかった。著作権の存在理由は「芸術文化活動が活発に行われる土壌をつくること」と聴いて、著作権があるからそれぞれの文化が守り続けられるのだと気付かされた。また、著作権には方式主義と無方式主義の2つがあり、その違いについて知ることができた。著作権を守っていくためには一人一人の芸術文化を大切にすることが必要だと思った。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

●1 回生のときから著作権に関するお話を聴き学んできましたが、毎回新しく理解できる部分があり、まだまだ勉強する必要があるということを非常に感じました。ここ数年のネットの台頭によって著作権のあり方も変化してきたと思います。現状に合うように常に変化させていく必要があると思いました。

同志社大学・生活科学部・3 回生

●著作権については興味を持っていましたが、特にその中でも音楽著作権についてもっと知りたいと思っていましたので、今日の授業は本当に有益でありました。自ら関心を持って責任感を持って著作権を守らなければならないと思いました。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

●音楽の違法ダウンロードが現代の音楽業界を非常に苦しめていることが理解できた。著作権は必ず守られていかなければならないが、今の音楽業界はただ違法ダウンロードを非難するだけでなく、自ら変革しようとしている。消費者自身も自らの行動を考えていかなければ、素晴らしい音楽を聴けなくなるかもしれない。

立命館大学・法学部・4 回生

●著作権を学ぶ上で驚いたことは、その数の多さです。そして、著作隣接権といって実演家にも権利があるということも学びました。私が今回の講義で一番学んだことは、著作権の存在理由です。それは、私たちを取り締まるためにあるのではなく、私たちの生活を豊かにするためにあるのだということが分かりました。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

●今日の講義で、著作権の最大の存在理由を芸術文化活動が活発に行われるための土壌を作ることだと紹介されていて、著作権へのイメージが変わりました。著作権は私たちを制限するのではなく、新しく生まれる芸術文化を正しい形で私たちに届け、私たちが楽しむために大変重要な役割を担っていると実感することができました。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

●映像学部は撮影などの制作をする人が多いので、権利問題については詳しく知っておく必要があると改めて感じました。この授業をきっかけに更に知識を深めたいと思いました。また、本当に多くの著名な方々のお話しが聴けてとても勉強になりました。

立命館大学・映像学部・2 回生

●著作権という権利の中にも様々な種類があることがわかった。著作権によってたくさんの制作者の人格や事業者がしっかり保護されていて、その存在はとても大切であると思った。著作権についてここまで詳しく知ったのは初めてなので、これから生活していく中で、この知識をしっかり活かしていきたい。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

●著作権について今までの講義のことと絡めて説明してくださったので、より理解が深まりました。一言に著作権といっても、たくさんの種類があって、とくに著作隣接権では意外な範囲まで保護されていて驚きました。これから何か企画をやるなどの機会があれば著作権を侵害してしまう側になりかねないので、十分に注意をしなければならないと思いました。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

●著作権の成り立ちには色々な事柄が絡んでいることを知れた。特に興味深かったのはナプスター事件である。デジタル時代の著作権を考えるになくはならない事件だと感じた。そしてそれらの影響を受けフェアユースなどの動きが始まったことが分かった。著作権に関係する多くの事柄は私たちにも大きく関わると感じた。

立命館大学・政策科学部・3 回生